



竹伐採作業を終え、確認中

(特非) グリーントラストジャパン

浜松市北遠地域にて、 侵入竹伐採から始める 森林環境保全活動

入門助成

1年目

実践

森林整備や
イベントを含めた
参加延べ人数

約400人

竹伐採数 約1,200本

活動の全体目標に
対する達成度

90%

課題

昨今の里山は、放置竹林からの竹が侵入し、竹藪化が目立つ。山道へ倒れ、覆い被さる場所もある。高齢化、林業衰退により見放された森林は一層の荒廃が進んでいる。

目標

放置・侵入竹が伐採され、美しい里山景観の森林環境を再生する。伐採竹も有効活用され、持続的に環境保全管理されるようになる。森林セラピーのフィールドとして活用できる里山に再生する。

活動内容

主たる活動場所は浜松市北部で、保全整備が必要な場所が多くある地域である。荒廃した森林を整備するにあたり、一般市民にも参加しやすいようにと、森林に侵入した竹伐採活動から始めた。その活動では、環境保全の啓蒙や環境学習の場になるように企画した。

さらに、継続的な森林環境の保全整備活動につながるように、地元住民の他に、大学、関連団体と連携を図った取組みとした。



竹伐採で見通しが
良くなった森林

達成できなかったこと

伐採竹を有効資源として、アイデア出して、もっと有効活用を図る活動。

今後の展望

地域全体の取組みへ拡大できれば、中山間地での地域コミュニティの復活と、過疎化進行の抑制に寄与できる。

成果と工夫した ポイント



成果

侵入竹伐採から始めた森林環境保全活動は始まったばかりである。まだ認知度は低い。

工夫

森林環境を守るのは、樹木を伐採する整備活動が、森林環境保全につながるのだと解るように工夫した。